



# 土砂災害に備える

これから梅雨や台風のシーズンを迎えます。毎年6月は「土砂災害防止月間」と定められており、町民の皆さんには土砂災害に関する理解と関心を深めるとともに、防災知識の普及や警戒避難体制の整備促進などを通じて、被害の防止、軽減を図ります。

日本は、険しい山地や谷地、がけ地が多く、地震や火山活動も活発なため、土砂災害が発生しやすい環境です。台風や豪雨に見舞われやすく平均で毎年約千件の土砂災害が発生しています。

近年本町では、幸いにも大災害に見舞われることはありませんでした。しかし、災害が発生しやすい土地柄であり、町内の270カ所が土砂災害危険箇所、271カ所が土砂災害警戒区域に指定されています。

この機会にもう一度、家族や地域で土砂災害の危険性や避難行動について考えてみましょう。

## 土砂災害とは

### 土石流

- ① 長雨や集中豪雨などの影響で山が崩れる、谷が削れる



- ② 崩れた土や石が水と一緒に下流へ流れ出す

- ③ 家や道路が壊れる

### がけ崩れ

- ① 大雨や地震の影響で急な斜面が一気に崩れる



- ② 崩れた土砂で家屋などが壊れる

### 地すべり

- ① ゆるやかな斜面が家や田畑と一緒にゆっくり動く



- ② 道路や家の壁にひびが入り壊れる

## 早めの避難

- 防災無線やテレビ、ラジオ、インターネットなどで避難情報を収集
- 「避難指示（警戒レベル4）」までに必ず避難

## 災害発生時の危険度

警戒レベル5 町が発令	被害発生または切迫 【命の危険直ちに安全確保】	緊急安全確保
警戒レベル4 町が発令	災害のおそれ高い 【危険な場所から全員避難】	避難指示
警戒レベル3 町が発令	災害のおそれあり 【危険な場所から避難】	高齢者など避難
警戒レベル2 気象庁が発表	避難行動の確認 【自らの避難行動を確認】	大雨・洪水注意

警戒レベル4までに必ず避難

## 予備知識

- 大雨に注意  
1時間に20ミ以上、または降り始めてから100ミの降水量になったら注意しましょう。



- 逃げる方法を覚える  
土石流は速度が早いいため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。



- 避難場所を決める  
日頃から家族全員で避難場所や避難する順路を決めておきましょう。

## 日頃の備え

- 「土砂災害警戒区域等マップ」を事前に確認
- 避難場所と避難の経路を事前に確認

## 危険な場所を確認

土砂災害が発生するおそれのある地域や、土砂災害が発生したときに建物が破壊され、被害を受けるおそれのある範囲を確認しましょう。

〔鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ〕で検索

マップはQRコードからも検索できます。



## 問い合わせ先

役場総務課危機管理係

☎(86)1111「直通」